

授業科目 地域理学療法学

【担当教員名】 松本 香好美、非常勤講師		対象学年	3	対象学科	理学
		開講時期	前期	必修選択	必修
		単位数	2	時間数	30
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	○	◎	◎		
【概要・一般目標：G10】 地域理学療法を知り、介護保険制度やサービスについて学ぶ。 社会変化に関心をもち、地域包括ケアシステムや地域における理学療法士の役割について理解を深める。					
【学習目標・行動目標：SBO】					
<ol style="list-style-type: none"> 1. 地域理学療法について概要を知り、説明できる。 2. 介護保険制度やサービスについて理解し、説明ができる。 3. 地域における関連職種との連携について学ぶ。 4. 地域における理学療法士の役割について説明ができる。 5. 地域包括ケアシステムについて理解し、説明ができる。 6. 海外の地域リハビリテーションについて学び、日本との違いを説明できる。 7. 事例を通じて問題点を抽出し、適切な介入内容とサービス提供案を提示できる。 					
回数	授業計画・学習の主題			SBO番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	地域理学療法総論			1	講義
2	介護保険制度、障害者自立支援法、関連職種との連携 1			2, 3	講義
3	介護保険制度、障害者自立支援法、関連職種との連携 2			2, 3	講義
4	介護保険制度、地域理学療法 1			1-5	講義
5	介護保険制度、地域理学療法 2			1-5	講義
6	介護保険制度と地域理学療法 3			1-5	講義
7	利用者を取り巻く環境（人的・物的） 1			1-5	講義
8	利用者を取り巻く環境（人的・物的） 2			1-5	講義
9	地域包括ケアシステムと地域理学療法 1			1-5	講義
10	地域包括ケアシステムと地域理学療法 2			1-5	講義
11	海外における地域理学療法 1			6	講義
12	海外における地域理学療法 2			6	講義
13	事例検討 1			1-7	講義
14	事例検討 2			1-7	講義
15	まとめ			1-7	講義
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		地域リハビリテーション学テキスト 改訂第2版	細田多穂(監修)、備酒伸彦(編集)、樋口由美(編集) 他	南光堂	2012・4,200円+税・配布資料
参考書		標準理学療法学 地域理学療法学 改訂第3版	牧田光代(編集)、金谷さとみ(編集)	医学書院	2012・4,935円
		地域リハビリテーションマニュアル 第2版	伊藤利之(編集)、白野明(編集)、田中理(編集) 他	三輪書店	2008・4,410円
その他の資料					
【評価方法】 単位取得においては定期試験で60点以上を必須条件とし、その点数に小テストまたはレポート課題、出席状況、意欲的に取り組む授業態度等を加味し、成績を総合的に評価する。			【履修上の留意点】		